

## 医療労務管理支援事業

### 医療勤務環境改善研修会 「医療従事者の働き方改革について」

令和4年10月27日（木）ハートンホテル京都にて、医療環境改善研修会「医療従事者の働き方改革について」が開催されました。出席者は会場、オンライン併用で合計88名の参加がありました。

研修会のテーマは、「医師、看護師をはじめとする医療従事者の働き方改革について」と題し、一般社団法人STRヘルスケアグループの諸橋泰夫氏よりご講演いただきました。

冒頭に「働き方改革」におけるポイントは、その進め方にある。何をやるかよりどうやるかが問われている。「タスクシェア、タスクシフト」も、要は業務内容の見直しと担当及び役割の見直しである。業務の流れを変えるような大胆な構造改革や代替機器導入など、今までの価値観を変えなければ改革とは言えないし、さほどの効果も期待できない。日本の人口は待たなしに加速しており、医療業界だけの問題だけではない。働き方改革を進めるにあたり、適正な人材確保がその基盤となることを再認識する必要がある。働き方改革＝残業時間削減ではない。残業時間を減らそうとしても働き方改革は進まない。結果として残業時間が減るのであると述べられた。

#### 1. 働き方改革の進め方

- やるかやらないか・見極め・受付手順を削減・受付をしない・患者数の把握・患者数を把握しない

患者数の把握は同じ仕事を別々の部署でやっている。そして「人が足りない」というが、瞬間風速であり8時間全て足りないわけではない。やっていることを変える事に反対する。例えば、夜勤2交代制を導入した当初は猛反対があった。しかし、いざ導入すると、もっと早く導入して欲しかったとの意見



諸橋泰夫氏

が聞かれた。

#### 2. 業務内容の見直し

- やるかやらないか・タスクシェア・タスクシフト・サポートセンター

新百合ヶ丘総合病院では、部署を1本化した「サポートセンター」を新設。また福島、郡山の有明では、内視鏡光源の感染対策カバーを開発。現在内視鏡に関して医療現場では、消毒液に含まれる水分で装置が故障したり、医療従事者にとって機器の消毒作業が大きな負担になったりする問題が発生している。そこで簡単に使えるカバーを開発。これにより洗浄作業がなくなる。

#### 3. 担当及び役割の見直し

- やるかやらないか・タスクシェア・タスクシフト・申し送り・定数配置・SPD・整理整頓

新百合ヶ丘総合病院建設時のコンセプトは、「患者にも職員にもいい環境」。病棟は看護師に限らず様々な職種が入りし易いように、ナースステーションではなく、「スタッフステーション」と命名、また持参薬チェックは看護師ではなく、薬剤師がしている。そして厨房スタッフが病室まで配膳する。

#### 4. 構造改革

- やるかやらないか・業務フローを変える・会計をしない・数値化・差別化

病院で受付をしない。現在やっていることは問診をしない。スマホで事前にやってきて貰うようAI問診を導入。そして次は「会計をしない」が可能になるか検討している。

#### 5. 代替機器の導入

- AI問診・読影システム



## 6. 人口減少

京都府の人口は 256 万 1358 人、世帯数 119 万 4158 世帯（令和 3 年 10 月 1 日現在）前年同月に比べ人口は 0.6% 減少、世帯数は 0.3% 増加している。我が国の総人口は、2004 年をピークに今後 100 年間で 100 年前（明治時代後半）の水準に戻っていく。この変化は、千年単位でも類を見ない、極めて急激な減少である。

## 7. 同業からの奪取ではなく異業種からの奪取

世の中全体的に人が足りない。今後は同業から奪取するやり方ではなく、違う職種から奪取の検討が必要。

## 8. 働き方改革は人材確保から

適正な配置・適正な採用

## 9. 効果を上げる

新百合ヶ丘総合病院の実績

- ・学生好印象ランキング 2 位 /56 病院中（ナース専科合同就職説明会）
- ・ブース着席数 4 位 /18 病院中（マイナビ看護学生合同就職説明会）

やることは、ほぼ決まっている・特別な方法なんてない・みんなを巻き込む・待っててもこない・お金の話はしない・お金できた人はお金でいなくなる

最後に、働き方改革は、何をやるかではなくて、どうやるか。働き方改革の基盤は適正な人材確保であると締めくくられた。

タスクシフト、タスクシェアを進めつつ、最新機器を導入し、患者数の大幅な増加と看護師数確保を確実に実現されており、大変関心が持てる研修会でした。今後人口減少が加速する中、人材確保は何処の事業所においても大きな課題となります。「やるか、やらないか、どうやるか」を常に意識し自答し、当院における「働き方改革」に役立てたいと考えます。

（伏見岡本病院・岩田裕花＝  
京都府医療勤務環境改善支援センター運営委員）